

タイ・ユニオン・グループ(TUn)

販売低迷の米レッドロブスター保有全株式売却方針。冷凍シーフード関連・ペットケアは前四半期比回復の兆し
タイ | 加工食品 | 業績フォロー

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU.BK

- 2023/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比10.3%減、レッドロブスター減損損失他の影響を除く調整後純利益が同0.4%増だった。
- 高付加価値その他部門は増収だったものの、冷凍シーフード関連やペットケア部門は新型コロナ禍の特需からの反動減で伸び悩んだ。
- 販売が低迷していた米レッドロブスター保有全株式を売却の方針。冷凍シーフード関連やペットケア部門は前四半期比で回復の兆し。

What is the news?

2/19発表の2023/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比10.3%減の355.29億THB、米レッドロブスター株式保有にかかる減損損失(185億THB)の影響を除く調整後純利益が同0.4%増の12.43億THB。ペットケア部門が前年同期の特需からの反動減という一時的要因が響いたほか、魚介類・水産加工品部門の販売量減少も響いた。利益面では粗利益率が同0.5ポイント上昇改善したほか、輸送費削減に伴い販管費が減少。金利上昇を受けて金融費用が同10.4%増加したものの外貨エクスポージャーの管理が奏功して外国為替換算差損益が前年同期の▲4.68億THBから68百万THBへ黒字転換したことが最終利益に貢献した。前四半期比では、売上高が4.8%増、純利益が3.1%増だった。

4Qの製品部門別の業績は以下の通り。①マグロ、イワシ、サバ関連製品やパウチサーモンなどを含む「魚介類・水産加工品部門」は、売上高が前年同期比8.2%減の156.93億THB。製品販売量(トン数)が同11%減だったことが響き、販売価格の引き上げで吸収できなかった。②エビ関連製品やスモークサーモン、イカ・タコ、カニ、貝類などの冷凍製品を含む「冷凍シーフード関連製品部門」は、売上高が同13.3%減の125.25億THB。製品販売量(トン数)は同0.9%減にとどまるも、米国の冷凍関連事業の構造改革に伴う適正サイズ化が響いた。③「ペットケア部門」は、前年同期の特需からの反動減で売上高が同17.0%減の46.22億THB。販売量が同23.7%減だった。④「高付加価値その他部門」は、売上高が同7.3%増の26.89億USD。販売量が同17.8%減少も、主に低付加価値製品の販売量減少への影響が大きく、高付加価値製品へのシフトが奏功した。

How do we view this?

2024/12通期会社計画は、売上高が前期比3-4%増、設備投資支出額が40-45億THB(前期:47.42億THB)、粗利益率が17.0-18.0%(同:17.1%)、売上高販管費率が11.0-12.0%(同:12.0%)。同社は、2016年に投資以降出資比率を高めてきた米レストラン大手レッドロブスター(49%保有)の全株式を売却する方針とした。新型コロナ禍以降販売が低迷していたことから財務面の負担軽減が見込まれる。また、4Qの前四半期比で冷凍シーフード関連製品部門が8%増収、ペットケア部門が23%増収。特に昨年堅調だったペットケア部門は在庫調整一巡からの反発が期待される。

業績推移

※参考レート 1THB=4.16円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
売上高(百万THB)	141,047	155,586	136,152	144,271	150,333
当期利益(百万THB)	8,013	7,138	-13,933	6,175	6,773
EPS(THB)	1.66	1.47	-3.15	1.31	1.44
PER(倍)	9.16	10.34	-	11.60	10.56
BPS(THB)	11.47	16.05	11.61	14.96	15.61
PBR(倍)	1.33	0.95	1.31	1.02	0.97
配当(THB)	0.95	0.84	0.54	0.72	0.79
配当利回り(%)	6.25	5.53	3.55	4.75	5.18

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB) **0.72** (予想はBloomberg)
終値(THB) **15.20** 2024/2/20

会社概要

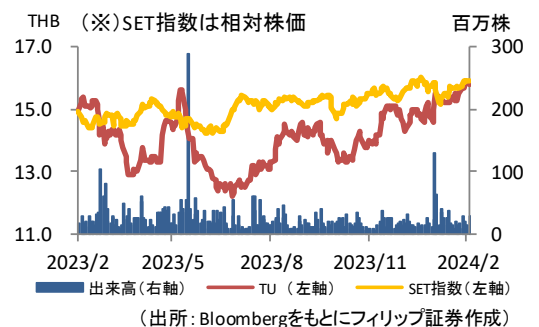
1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。海外においては、米国子会社がロブスターをはじめシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。

2016年には世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行った。

北米ではChicken of the Sea、Genova、欧州ではJohn West、Petit Navire、Parmentier、King Oscar、Mareblu、Rügen Fisch、アジア太平洋地域ではSEALLECT、Fishe、King Oscar、Qfresh、Monori、Bellotta and Marvoなどのブランドを展開する。

企業データ(2024/2/21)

ベータ値 0.53
時価総額(百万THB) 69,724
企業価値=EV(百万THB) 134,587
3ヵ月平均売買代金(百万THB) 337.3



主要株主(2024/2)

(%)
1. STOCK EXCHANGE OF THAILAND 8.04
2. Chansiri Thiraphong 7.17
3. タイ・ユニオン・グループ 7.11

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。